

「次期京都市区基本計画」における重点戦略イメージ（たたき台）

現行基本計画の構成

京都市基本構想
 (2001～2025年)

はばたけ未来へ！ 京プラン 京都市基本計画(平成23(2011)～平成32(2020)年度)

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------------|--|--------------------------------|--|--|--|--|------------------------------------|
| 計画の位置付け | <ul style="list-style-type: none"> 京都市基本構想に基づく第2期の基本計画(計画期間は平成23(2011)年度から10年間) 単なる「行政計画」ではなく、市民と行政が共に汗を流して協働する「共汗型計画」 政策の優先順位を明確にし、目標への筋道を示す「戦略的な計画」 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画の背景 | 基本計画を策定するに当たって、とくに注目すべき社会経済情勢 ①人口減少と少子高齢化、②地球温暖化の加速、③グローバル化の進展、④低経済成長と厳しい京都市財政 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市経営の理念 | 今後10年間にわたって、京都市の都市政策を進めていくうえでの基本となる考え方 生活者を基点に、参加と協働で地域主権時代を切り拓く <ul style="list-style-type: none"> 地域主権時代の都市経営のあるべき姿は、国の権限と財源の基礎自治体への移譲にとどまることなく、自治体とその主人公たるべき市民が自治意識を共有し、実践する、参加と協働による市政運営とまちづくりを実現することである。 財政問題や少子高齢化、地球環境問題など深刻な課題が多くあるが、わたしたち京都市民は、ポジティブ(未来志向)な発想と行動で乗り越え、長年にわたり育んできた美意識や得意技を生かして、生活者を基点とした未来像を共有し、参加と協働で実現への道筋を見出し、共に汗を流して希望のもてる未来を切り拓く。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 京都の未来像 | 10年後にめざすべき京都の姿 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">地球環境に暮らしが豊かに調和する 【環境共生と低炭素のまち・京都】</p> <p style="font-size: small;">以下6つの未来像は、相互に密接な関連をもち、循環している。</p> <p style="font-size: small;">歴史・文化を創造的に活用し、継承する 【日本の心が感じられる国際都市・京都】</p> <p style="font-size: small;">伝統と知恵を生かし、豊かな生活を支える 【環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都】</p> <p style="font-size: small;">いのちと暮らしを守り、安心・安全で幸福を実感できる 【支え合い自治が息づくまち・京都】</p> <p style="font-size: small;">だれもがともに学び成長し、未来を担う若者が育つ 【学びのまち・京都】</p> <p style="font-size: small;">人間らしくいきいきと働き、家庭・地域で心豊かに生活できる 【真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都】</p> </div> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点戦略 | 京都の未来像を実現するための方策として、未来像相互の関連性に着目しながら、単一分野だけでなく、複数の行政分野を融合し、とくに優先的に取り組むべき事項 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="font-size: x-small;">市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する 【低炭素・循環型まちづくり戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">ひとと公共交通を優先する 【歩いて楽しいまち・京都戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する 【歴史・文化都市創生戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす 【個性と活力あふれるまちづくり戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">世界が共感する 【旅の本質を追求する観光戦略】</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">京都の知恵や価値観を三かした 【新産業創造戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">夢と希望がもてる 【未来の担い手育成戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">子どもと親と地域の笑顔があふれる 【子どもを共に育てる戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">仕事と家庭、社会貢献が調和できる 【真のワーク・ライフ・バランス戦略】</td> <td style="font-size: x-small;">だれもが参加したくなる 【地域コミュニティ活性化戦略】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="font-size: x-small;">安心・安全と生きがいを実感できる 【いのちと暮らしを守る戦略】</td> </tr> </table> | 市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する 【低炭素・循環型まちづくり戦略】 | ひとと公共交通を優先する 【歩いて楽しいまち・京都戦略】 | 歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する 【歴史・文化都市創生戦略】 | 魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす 【個性と活力あふれるまちづくり戦略】 | 世界が共感する 【旅の本質を追求する観光戦略】 | 京都の知恵や価値観を三かした 【新産業創造戦略】 | 夢と希望がもてる 【未来の担い手育成戦略】 | 子どもと親と地域の笑顔があふれる 【子どもを共に育てる戦略】 | 仕事と家庭、社会貢献が調和できる 【真のワーク・ライフ・バランス戦略】 | だれもが参加したくなる 【地域コミュニティ活性化戦略】 | | | | | 安心・安全と生きがいを実感できる 【いのちと暮らしを守る戦略】 |
| 市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する 【低炭素・循環型まちづくり戦略】 | ひとと公共交通を優先する 【歩いて楽しいまち・京都戦略】 | 歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する 【歴史・文化都市創生戦略】 | 魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす 【個性と活力あふれるまちづくり戦略】 | 世界が共感する 【旅の本質を追求する観光戦略】 | | | | | | | | | | | | |
| 京都の知恵や価値観を三かした 【新産業創造戦略】 | 夢と希望がもてる 【未来の担い手育成戦略】 | 子どもと親と地域の笑顔があふれる 【子どもを共に育てる戦略】 | 仕事と家庭、社会貢献が調和できる 【真のワーク・ライフ・バランス戦略】 | だれもが参加したくなる 【地域コミュニティ活性化戦略】 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 安心・安全と生きがいを実感できる 【いのちと暮らしを守る戦略】 | | | | | | | | | | | | |
| 政策の体系 | 各政策分野における基本方針、現状と課題、みんなでめざす10年後の姿、市民と行政の役割分担と共汗、推進施策 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> うるおい 1 環境 2 人権・男女共同参画 3 青少年の成長と参加 4 市民生活とコミュニティ 5 市民生活の安全 6 文化 7 スポーツ </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> 活性化 8 産業・商業 9 観光 10 森林・農 11 大学 12 區際化 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> すこやか 13 子育て支援 14 障害者福祉 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 保健衛生・医療 18 学校教育 19 生涯学習 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> まちづくり 20 歩くまち 21 土地利用と都市機能配座 22 景観 23 建築物 24 住宅 25 道と緑 26 消防・防災 27 くらしの水 </td> </tr> </table> | うるおい 1 環境 2 人権・男女共同参画 3 青少年の成長と参加 4 市民生活とコミュニティ 5 市民生活の安全 6 文化 7 スポーツ | 活性化 8 産業・商業 9 観光 10 森林・農 11 大学 12 區際化 | すこやか 13 子育て支援 14 障害者福祉 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 保健衛生・医療 18 学校教育 19 生涯学習 | まちづくり 20 歩くまち 21 土地利用と都市機能配座 22 景観 23 建築物 24 住宅 25 道と緑 26 消防・防災 27 くらしの水 | | | | | | | | | | | |
| うるおい 1 環境 2 人権・男女共同参画 3 青少年の成長と参加 4 市民生活とコミュニティ 5 市民生活の安全 6 文化 7 スポーツ | 活性化 8 産業・商業 9 観光 10 森林・農 11 大学 12 區際化 | すこやか 13 子育て支援 14 障害者福祉 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 保健衛生・医療 18 学校教育 19 生涯学習 | まちづくり 20 歩くまち 21 土地利用と都市機能配座 22 景観 23 建築物 24 住宅 25 道と緑 26 消防・防災 27 くらしの水 | | | | | | | | | | | | | |
| 行政経営の大綱 | 行財政改革やマネジメントのしくみなど、基本計画全体を進めていくための基盤となる行政経営の方針 ①参加と協働による市政とまちづくりの推進、②情報公開・共有と行政評価の推進、③特務可能な行財政の確立、④一層信頼される市政所づくりに向けた組織の改革と人材の育成、市役所庁舎の整備 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画の推進 | ① 計画に掲げた政策の推進(「実施計画」の策定、推進、「各区基本計画」、「都市計画マスタープラン」等との連携) ② 計画に掲げた政策の点検(政策評価制度の実施、点検委員会の設置、実施状況の報告、公表) ③ 圏や関係自治体との連携 | | | | | | | | | | | | | | | |

重点戦略とは

京都の未来像を実現するための方策として、未来像相互の関連性に着目しながら、単一分野だけでなく、複数の行政分野を融合し、特に優先的に取り組むべきもの。

<要件>

- ① 未来像を実現するために、特に優先的に取り組むべき政策
- ② 「京都らしさ、独自性」といった都市特性や強みを生かす政策
- ③ 行政だけでなく、市民や企業と「共汗」して推進する政策
- ④ 単一分野だけでなく、複数の行政分野を「融合」した政策

<御検討いただく際の視点・背景>

- ① 未来に種をまく視点
- ② 多様性（性別・世代・属性・京都の外からなど）の視点
- ③ 優先順位・トレードオフではない WIN-WIN を探す視点



次期基本計画検討に当たってのキーワード(第1回審議会での御意見を受けて)

網掛け：第1回の御意見を踏まえて追加したキーワード

下線：第1回で同趣旨の御意見を頂いたキーワード

文化の多様な価値創出

- ・文化を基軸とした取組
 - 文化芸術基本法の施行、文化庁の全面的移転、長期的視点に立った文化政策、有形無形の京都文化遺産の継承、保存と活用の好循環の創出、平和・共生社会の実現、経済の活性化、観光との連動、文化によるイノベーション創出、食文化・生活文化の継承、子どもへの継承、担い手の育成と創造環境の整備、国内外の文化交流の促進
- ・新景観政策のさらなる進化
 - 京都の景観の守るべき骨格の堅持・充実、規制法を含む創造法への景観政策の進化、豊かな自然景観の保全、京町家等の都市景観の保全、地域特性を踏まえたきめ細かな対応

脱炭素・循環型社会の構築と生物多様性の保全

- ・二酸化炭素排出量正味ゼロに向けた社会の実現
 - パリ協定、1.5℃を目指す京都アピール、都市文化・価値観の転換、省エネ・再生可能エネルギー拡大、広域連携、社会課題を解決するイノベーション創出、気候変動による自然災害の統廃
- ・ごみを出さない循環型社会の構築
 - ごみが出ない生産体制・ライフスタイル・地域社会の構築、動脈産業と静脈産業の循環、プラスチックごみ対策 (G20 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの具体化)、さらなるごみ対策
- ・生物多様性の保全
 - 京都の文化を支える自然環境の保全、人と自然との関係の再構築、森林の再生、在来種の絶滅危機対策

市民生活と観光の調和

- ・市民生活との調和
 - 観光客の分散化、観光マナー向上、観光効果の市域全体への還元、市民・観光客の安心安全、質のさらなる向上、民泊（違法対策→土質化）
- ・京都の価値の再認識・世界への発信
 - 世界的な観光客の増加、観光立国、ホスピタリティ・おもてなし、多文化共生、文化の相互理解の推進、大阪・関西万博・MICE、修学旅行生へのPR
- ・観光産業の高付加価値化
 - 観光の担い手の職としての魅力向上、観光産業の生産性向上、多言語対応、キャッシュレス化

<横断的な視点>

- ①未来に種をまく視点
- ②多様性（性別・世代・属性・京都の外からなど）の視点
- ③優先順位・トレードオフではないWIN-WINを探る視点



子育て・教育環境日本一

- ・子どもを楽しく生み育てられる環境づくり
 - 少子化対策、共働きの増加、女性の活躍、貧困対策、保育の担い手確保、地域ぐるみの子育て支援
- ・学び合い・育ち合う環境づくり
 - 社会との関わりを意識した教育、京都ならではの育ち、様々な挑戦を可能とする社会構築、自己肯定感・自立心の育み、学生にやさしいまちづくり、大学・学生の国際化、学生・留学生への京都文化の浸透、リカレント教育、いつでも学び直せる環境づくり
- ・困難を有する子ども・若者への支援
 - 医療的ケア児・障害児への対応、児童虐待・いじめ・不登校対策、第3の居場所づくり、生きづらさを感じている若者への支援、長期化・高齢化するひきこもりへの対応、切れ目ない支援、参加しやすい地域・コミュニティづくり

社会・経済価値の創造

- ・知恵の承継・担い手確保
 - 雇用・産業用地の創出、企業誘致、南部地域の創造、地域企業の活性化、産業人材の育成環境の整備・集積、事業承継、学生に選ばれるまちづくり、入管法改正・外国人労働者、伝統産業の継承・イノベーション、労使連携、働き方改革、生産性の向上、ディーセントワーク
- ・新たな価値を創造する次世代産業の創出
 - 地域特性や企業独自の強みを生かした知恵の活用、グローバル視点、ローカル視点、人間らしい豊かさ（ローカル価値、アナログ価値）、デザイン思考、クリエイティブ産業のクラスター化、スタートアップを生み出すエコシステムの構築、ESG投資の呼応、グローバル新市場の開拓・創造、オープンイノベーション・交流
- ・Society5.0を見据えた取組
 - IoTによる新たな価値、イノベーションによる様々なニーズへの対応、AIによる情報の提供、ロボットや自動走行等の技術による人の可能性の広がり

福祉・地域力の向上

- ・誰一人取り残さない地域社会づくり
 - 単身化等による地域社会の変容、人生100年時代の到来、地域共生・社会的包摂、コミュニティの多様化（SNS、子ども食堂等）、多文化共生、ダイバーシティ、複雑化する地域課題へのニーズに応じた対応、町内会・自治会の活性化、個人間・地域間・世代間の格差・断絶の解消、社会的孤立・8050問題への対応
- ・健康で安心安全なくらし
 - 犯罪・再犯防止、世界一安心安全なまちづくり、健康長寿・高齢者の活躍、フレイル対策、ゴールドenspportsイヤーズを契機としたスポーツ振興・文化発信、スポーツを通じた他者への理解の促進

都市インフラの強靱化・質の向上

- ・危機管理・防災・減災
 - 南海トラフ地震への備え、災害の激甚化・スーパー台風への対応、リダンダンシーの確保、都市基盤の長寿命化・機能向上、防災と景観を両立するインフラ整備
- ・社会活動を支える基盤整備
 - 都市基盤の戦略的マネジメント、投資を誘発する都市づくり、ウェルネスインフラ・グリーンインフラの構築、広域ネットワークの形成、ユニバーサルデザイン、空き家の有効活用

公共交通を基軸とした持続可能な都市構築

- ・住む場所・働く場所の確保
 - 保全・再生・創造のまちづくり、都市のスポンジ化への対応、コンパクト+ネットワーク、若年層の定着、職住・育住近接
- ・歩いて楽しいまちづくり
 - 公共交通利用割合のさらなる向上、公共交通の利便性向上・担い手確保、ライドシェア、モビリティマネジメント、新技術・新概念（MaaS）の活用、歩いて楽しい空間づくり
- ・地域の個性を生かした景観づくり・まちづくり
 - 地域力のさらなる向上、まちづくりの担い手創出、エリアマネジメント、京都市立芸術大学の移転